

行政改革推進会議
独立行政法人改革等に関する分科会
第三ワーキンググループ 説明資料

独立行政法人水産大学校

農林水産省
平成25年10月

(独)水産大学の概要

水産業界を担う人材育成を実学重視のカリキュラムで行う、我が国唯一の水産専門の高等教育機関。

自主性を重視する国立大学と異なり、農林水産大臣の定める中期目標のもと、水産業界を担う人材の育成を実施。



練習船耕洋丸

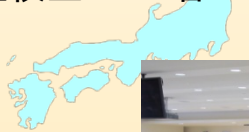


練習船天鷹丸

- 役員数：4名(H25.4.1現在)
(うち理事長1名、理事1名、監事(非常勤)2名)
- 職員数：169名(H25.4.1現在)
(うち教員72名、一般職員35名、海事関係職員62名)
- 平成25年度予算額：2,425百万円
(うち運営費交付金1,673百万円)
- 本部：山口県下関市

学生

- ・全都道府県から意欲ある高校生(水産高校を含む)が入学
在校生 928名



- ・独立した水産専門の高等教育機関として人気が高く、入試倍率は2.8~5.6倍

水産大学校における志願者数、倍率、入学者の推移(過去6力年)

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
定員	185	185	185	185	185	185
志願者数	521	636	816	832	832	1039
倍率	2.8	3.4	4.4	4.5	4.5	5.6
入学者数	245	214	213	205	203	215

教育の特徴

- ・漁業、増養殖、水産流通・加工等幅広い専門分野にわたる水産業界の総合教育(卒業・修了者には(独)学位授与機構より学士・修士の学位が授与)
- ・全学生が7日以上乗船実習(漁労、操船、漁獲物処理など)



- ・魚市場、漁協、食品スーパー、増養殖施設など産業界との連携による水産業界の現場での実習

- ・水産行政機関、試験研究機関、水産団体・企業等の幹部等現場の第一線で活躍する者による講義

卒業生の進路

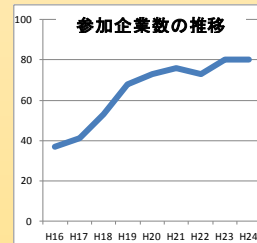
- ・これまで約10,000人の卒業生を輩出
- ・水産業界の生産・流通・加工の各分野の中堅企業を中心に水産現場のリーダーとなる人材を全国に幅広く供給。



生産 → 流通 → 加工 → 消費

- ・就職率95%~98%、水産業界への就職約8割(国立大学法人水産系学部の水産関連分野への就職は3割~5割)

- ・合同企業説明会の参加企業は年々増加



水産大学校の沿革

農林省水産庁水産講習所下関分所(昭和21)



農林省水産庁第二水産講習所(昭和22)



農林省水産庁水産講習所(昭和27)



農林省水産庁水産大学校(昭和38)



農林水産省水産庁水産大学校(昭和53)



【独立行政法人化】

(独)水産大学校(平成13)

(平成18年4月1日:非公務員化)

水産大学校の組織

理事長 (1)

理事 (1)

監事 (2)

校長

企画情報部

総務部

監査役

【本部:山口県下関市】

学生部

水産流通経営学科

海洋生産管理学科

海洋機械工学科

食品科学科

生物生産学科

専攻科

水産学研究科

実習教育センター

田名臨海実験実習場(山口県熊毛郡)

小野臨湖実験実習場(山口県宇部市)

(所属船舶)

耕洋丸 天鷹丸